



保留児童解消へ……80名定員増 民間保育所施設整備に 2億775万円

**12月
定例会**
12/1~12/20

12月定例議会は、12月1日開会、12月20日閉会の20日間で開催され、22件の議案が提案されました。平成23年度の一般会計補正予算(第4号)では、2億6681万円増額し、一般会計総額は360億2372万円となりました。各議案は慎重に審議され、全議案とも可決されました。



▶寺谷保育園完成予想画

民間保育所 施設整備事業

保留児童に対応するため、埼玉県
の保育所緊急整備事業補助金を活用

し、民間保育所の施設整備を行います。総工費の2分の1を県が、4分の1を市が負担し、特にゼロ歳児から2歳児までの低年齢児の定員増を予定しています。

寺谷保育園改修工事	
鉄骨2階	
延べ床面積855㎡	
30名定員増(現在は90名)	
平成24年10月開設予定	
どんぐり第二保育園新設工事	
木造一部鉄骨造平屋建	
延べ床面積490.76㎡	
定員50名	
平成24年6月開設予定	

本庁舎耐震・ 改修事業進む

問 鴻巣市本庁舎耐震・改修事業について、事業の全体像を示してほしい。
答 平成23年度は、本庁舎の5階と

地下の工事及び別棟の基本設計を行っています。平成24年度は本庁舎の工事の予定はありませんが、別棟の実設計を予定しています。別棟の新築工事を完了し、本庁舎の1〜2階の各課を別棟や3階に移動し、1〜2階の耐震化と改修工事を行います。

工事が終わりましたら3〜4階の各課を1〜2階に移し、3〜4階の工事を行います。本庁舎の耐震改修工事を28年2月頃終わらせる計画です。又、各階のトイレなどの改修も予定しています。

問 本庁舎別棟の新設計画はどのようなものか伺う。
答 まず、市役所周辺は、第一種中高層住居専用地域となっており、別棟新設には、特別用途地域として規制緩和が必要となります。現在、県と協議中です。

別棟は災害時の対策本部が設置可能な施設で、会議室を確保し、土曜開庁している部署の移転を考えています。別棟施設は、2〜3階建てで延床面積3000㎡程度の規模を計画しています。今後、基本設計、実設計により詳細を詰め、平成25年度に工事中、26年度秋頃の完成をめざしています。

その他の 審議内容

鴻巣市重度要介護高齢者手当支給条例の一部を改正する条例

問 今回の条例改正は、今までの支給対象支給要件である「要介護4または5状態であること」「介護保険料の滞納がないこと」「市町村民税の非課税世帯に属すること」を加えるとのことだが、その理由は。
答 高齢化社会が進む中、大切な税金を使つての施策であり、低所得で福祉の必要な方に手厚い福祉をという考えで所得制限を設けました。今後、低所得の方にはさらに一定の軽減措置ができないか検討しているところです。

DVに配慮 男女共同参画 推進条例

問 今回の条例で、先進地と比較して特出している点はどこか。
答 国の男女共同参画社会基本法の中で、特に基本理念の中にはDV関係はうたわれていないのですが、本市ではこれらを盛り込んでいる点です。
問 条例中に事業者の責務が盛り込まれているが、事業者に対してどのように市は関わるのか。
答 事業者の責務については、国の男女共同参画社会基本法の中でも明記しているところですが、本市としては条例中の各種施策を実施していく中で、協力をいただくことを考えています。

県内8番目！ 男女共同参画 都市宣言

緑豊かな河川や田園
四季に咲き誇る花々
伝統工芸として伝えられる
鴻巣人形
鴻巣市は人と自然と文化が
調和するまちです
私たちはこの鴻巣市に誇り
をもち

男女が互いに尊重しあい
その個性と能力を發揮し
性別にとらわれることなく
あらゆる分野に参画し
世代を超えて支えあい
共にいきいきと輝き
思いやりあふれるまち
「鴻巣市」をめざし
ここに「男女共同参画都市」
を宣言します

問 今議会で、男女共同参画推進条例と男女共同参画都市宣言が同時に提案されているわけだが、他の先進自治体の状況は。
答 今議会で認定された荒川左岸通線

荒川左岸通線延伸 はいつ頃か

問 今回認定された先の道路の事業のスケジュールは。また、さいたま鴻巣線までの延伸予定年度は。
答 原馬室・滝馬室土地区画整理事業が完了するところから、市道B-363号線(通称分家通り)までの約281mを、平成24年度事業認可を取得する予定で作業を進めています。そこまでを平成28年度までに完了させる計画です。

その先は進捗状況に応じてですが、市としては県道さいたま鴻巣線まで延伸したいと考えています。



▶今議会で認定された荒川左岸通線

